

まちかど アルバム



鳥取自動車道 河原 IC～鳥取 IC 間開通

鳥取自動車道

3月28日(日) 鳥取自動車道(中国横断自動車道姫路鳥取線)の鳥取IC(インターチェンジ)～河原IC間9.7キロが完成し、関係者らがテープカットを行って開通を祝いました。この日は、同自動車道の大原IC～佐用JCT(ジャンクション)間10.9キロも開通し、鳥取市から神戸・大阪方面への車での移動時間が約10分間短縮されました。残る西粟倉IC～大原IC間8.3キロは、平成24年度に開通する予定です。

流しびな気分で急流を体感

用瀬町

3月20日(土)と21日(日)、用瀬町内を流れる千代川で、ラフトボートに乗って川下りを楽しむ「川遊びフェスティバル」が行われました。参加者は、ライフジャケットとヘルメットを着用し、「流しびなの館」前を通る約800mの行程を、自然を満喫しながら下りました。落差約1mの岩場では、ボートが大きく揺れるたびに「キャー」と歓声を上げる参加者も…。ゴールに着くころには、みんなが全身に水しぶきを浴びていました。



鹿野往来交流館「^{ドリーム}童里夢」完成

鹿野町鹿野

4月3日(土)、鹿野町の城下町地区に鹿野往来交流館「^{ドリーム}童里夢」が完成し、地元住民や関係者が集まって竣工式が行われました。^{ドリーム}童里夢は、鹿野祭りに関する写真や映像、祭りに使われる小道具などを展示している施設で、午前9時30分から午後5時30分まで年中無休で開館しています(入館無料)。また、9月には地元食材を使った飲食店が出店する予定で、住民や観光客の交流の場となることが期待されます。

絆(KIDSな)ドリームで祭典閉幕

久松公園

約1年間にわたって県東部の魅力を県内外に発信してきた「2009鳥取・因幡の祭典」が、3月21日(日)と22日(月・祝)に久松公園一帯で開催された「いなば絆(KIDSな)ドリーム」で閉幕しました。式典では、1市4町の首長が子どもたちに祭典の聖火を引き継いだ後、参加者全員が「ふるさと」を大合唱。最後に、特産の因州和紙で折った紙飛行機を空高く飛ばして、未来への飛躍を誓いました。





小学生がキジを放鳥

気高町^{あうさか}逢坂小学校

3月17日(水) 逢坂小学校の児童がキジの放鳥を体験しました。これは、子どもたちに野生の鳥と親しんでもらおうと、鳥獣保護・増殖のための放鳥事業の一環として実施されたものです。児童は、学校近くの農道で地元猟友会の人に手伝ってもらいながら、日齢250日以上の子キジ23羽を山に向かって放鳥。力強く羽ばたいて飛んでいく姿を、歓声を上げながら見送りました。

グラウンドゴルフで和気あいあい

河原町総合運動場

3月27日(土) 河原町総合運動場で52人の老若男女が参加して「世代交流グラウンドゴルフ大会」が開催されました。祖父母と孫、または親子がペアになって1つのボールを交互に打ち、打数を競うこの大会。初心者の子どもたちは、ベテランの祖父母から「ボールから目を離さないで打つ」「足はしっかり開く」などのアドバイスを受け、楽しくプレーしながら交流を深めました。



山のジオパークでじげおこし

国府町^{わし}上地

3月23日(火) 国府町上地の「扇の里交流館」で、ジオポイント(地質学的に見どころのある場所)案内看板の除幕式が行われました。これは、山陰海岸ジオパークエリア内にある扇ノ山ふもとに位置する同地区のジオポイントを^{たにくちとくごろう}紹介する看板で、多くの人に訪れてもらおうと設置したものです。地元代表の谷口徳五郎さんは「山のジオパークが新しい魅力となって、たくさんの方が来てくれたら嬉しい」と目を輝かせていました。

最後の卒業式

青谷小学校南校舎

3月19日(金) 青谷小学校南校舎で卒業式が行われました。4月からは青谷小学校北校舎と南校舎が統合されるため、南校舎での最後の卒業式となりました。



真新しい中学校の制服を着て、少し大人になった卒業生19人は、学校生活でお世話になった先生、成長を温かく見守ってくれた地域住民、そして、育ててくれたお父さん・お母さんに感謝し、思い出いっぱいの校舎から巣立ちました。

さじっ子がロケットの発射実験

プラザ佐治記念ホール



4月2日(金) 佐治町の放課後児童クラブ「さじっ子クラブ」が、さじアストロパーク研究員^{ありべたかあき}の織部隆明さんを講師に招いて、ロケットに関する学習会を行いました。参加した子どもたちは、織部さんからロケットの速さや燃料、宇宙に関する知識をクイズ形式で学んだ後、注射器にアルコール燃料を注入した模擬ロケットの発射実験

を行いました。「ボンッ!」という音と同時に勢いよく飛び出すロケットに、子どもたちはびっくりした様子でした。